

鉄鋼スラグを含む碎石の分析試験結果一覧

地表に露出した状態で施工されているもの

調査番号	施工場所	地区	施工形態	施工年度	サンプリング分析結果 ※1											
					スラグ碎石 溶出量試験 (環境安全品質基準) ※2 JIS K 0058-1 (単位:mg/kg)				スラグ碎石 含有量試験 (環境安全品質基準) ※2 JIS K 0058-2 (単位:mg/kg)				土壌汚染対策法			
					六価クロム		フッ素		六価クロム		フッ素		土壌溶出量試験 (単位:mg/kg)		土壌含有量試験 (単位:mg/kg)	
					基準値 (0.05)	測定値	基準値 (0.8)	測定値	基準値 (250)	測定値	基準値 (4,000)	測定値	基準値 (0.05)	測定値	基準値 (250)	測定値
1	伊香保保育所 駐車場	伊香保町伊香保	敷砂利	H21年度	0.02未満	3.1	25未満	18,000~21,000	0.02未満	2.8	25未満	400未満				
21	渋川スカイランドパーク第4駐車場	金井地内	敷砂利	H8年度	0.06~0.17	1.5~2.1	25未満	8,400~11,000	0.02	1.4	25未満	400未満				
22	渋川スカイランドパーク第5駐車場	金井地内	敷砂利	H8年度	0.02~0.05	2.1~3.7	25未満	13,000~14,000	0.02未満 ~0.09	0.24~8.1	25未満	400未満				
23	渋川スカイランドパーク第7駐車場	金井地内	敷砂利	H8年度 H9年度	0.02未満 ~0.04	2.0~2.6	25未満	7,700~9,700	0.02未満 ~0.04	0.34~2.1	25未満	400未満				
30	赤城総合運動自然公園野球場北駐車場	赤城町 津久田地区	敷砂利	不明	0.05	1.4	25未満	19,000	0.02未満	0.83	25未満	400未満				
31	赤城健康公園北駐車場	赤城町 宮田地区	敷砂利	不明	0.02未満	1.6	25未満	11,000	0.02未満	1.5	25未満	400未満				
32	赤城キャンプ場	赤城町 北赤城山地区	敷砂利	不明	0.02未満	1.0	25未満	12,000	0.02未満	0.16	25未満	400未満				
24	三美が丘自然公園遊歩道	渋川(御蔭)地内	敷砂利	H11年度	0.05	1.9	25未満	18,000	0.02未満	8.7	25未満	1,600				
37	大崎緑地公園遊歩道	渋川(大崎)地内	敷砂利	H9年度	0.02未満	0.49~0.50	25未満	6,400	0.02未満	6.0	25未満	400未満				
2	林道金井水沢線	金井地内	敷砂利	H12年度 H17年度	0.02	2.0	25未満	14,000	0.02未満	5.6	25未満	1,100				
38	林道大場間下田線	赤城町深山地区	敷砂利	H17年度	0.02未満	2.0	25未満	8,800	0.02未満	2.2	25未満	960				
7	県営赤城西麓土地改良事業 羽場坂地区 市道5-8775号線	赤城町 長井小川田地区	敷砂利	H19年度	0.02未満	1.9	25未満	12,000	0.02未満	1.8	25未満	2,500				
8	県営赤城西麓土地改良事業 羽場坂地区 市道5-8776号線	赤城町 長井小川田地区	敷砂利	H19年度	0.02未満	1.8	25未満	18,000	0.02未満	2.6	25未満	1,800				
9	県営赤城西麓土地改良事業 羽場坂地区 市道5-7874号線	赤城町 長井小川田地区	敷砂利	H19年度	0.02未満	2.4	25未満	14,000	0.02未満	3.4	25未満	1,800				
10	県営赤城西麓土地改良事業 羽場坂地区 市道5-7874号線	赤城町 長井小川田地区	敷砂利	H19年度	0.02未満	2.4	25未満	14,000	0.02未満	0.47	25未満	510				
33	県営赤城西麓土地改良事業 羽場坂地区 市道5-8776号線	赤城町 長井小川田地区	敷砂利	H19年度	0.02未満	1.3~1.7	25未満	18,000	0.02未満	0.42	25未満	490				
35	県営赤城西麓土地改良事業 湯呂木地区 市道5-4151号線	赤城町 湯呂木地区	敷砂利	H15年度 H16年度	0.02未満	3.9	25未満	3,700	0.02未満	0.22	25未満	400未満				
15	市道有馬五輪平線支線	有馬地内	敷砂利	H16年度	0.04	2.2	25未満	18,000	0.02未満	4.3	25未満	400未満				
16	市道1-5773号線	金井地内	敷砂利	H8年度頃	0.05	3.4	25未満	17,000	0.02未満	3.6	25未満	400未満				
17	市道1-4265号線	渋川(上郷)地内	敷砂利	H19年度	0.04	1.9	25未満	19,000	0.02未満	1.9	25未満	400未満				
18	市道1-1106号線	半田地内	敷砂利	H19年度	0.03	1.7	25未満	19,000	0.02未満	1.4	25未満	400未満				
19	中村地区水路舗装被覆工事	中村地内	敷砂利	H20年度	0.02未満	1.9	25未満	24,000	0.02未満	1.4	25未満	400未満				
36	市道上郷高瀬地線	石原地内	敷砂利	H18年度	0.02未満	0.73	25未満	6,300	0.02未満	0.27	25未満	400未満				
26	市道4-2041号線	吹屋地区	敷砂利	不明	0.03	1.4	25未満	18,000	0.02未満	2.5	25未満	400未満				
27	市道4-5139号線	中郷地区	敷砂利	不明	0.04	2.1	25未満	18,000	0.02未満	3.2	25未満	2,000				
28	市道4-2007号線	吹屋地区	敷砂利	不明	0.02未満	0.08未満	25未満	400未満	0.02未満	0.24	25未満	400未満				

下層路盤として地中に施工されているもの

20	渋川スカイランドパーク第1第3駐車場	金井地内	舗装路盤工	H8年度	0.11	1.3	25未満	12,000	0.086	3.3	25未満	1,700
29	赤城歴史資料館 駐車場	赤城町 勝保沢地内	舗装路盤工	不明	0.005未満	3.3	25未満	13,000	0.005未満	2.9	25未満	840
3	小規模土地改良事業 半田薬師地区市道部分	半田地内	舗装路盤工	H14年度	0.019	1.8	25未満	5,400	0.005未満	0.54	25未満	400未満
5	団体營基盤整備促進事業 五輪平地区 市道部分	有馬地内	舗装路盤工	H15年度	0.02未満	2.0	25未満	14,000	0.08	8.5	25未満	4,600
6	団体營基盤整備促進事業 行幸田北部地区 市道部分	行幸田地内	舗装路盤工	H15年度	0.02未満	3.4	25未満	15,000	0.02	7.2	25未満	2,200
11	市道大崎下郷線	渋川(大崎)地内	舗装路盤工	H16年度	0.014	0.92	25未満	6,000	0.005未満	0.62	25未満	400未満
12	市道有馬辰巳町線	石原地内	舗装路盤工	H16年度	0.005未満	0.08未満	25未満	400未満	0.005未満	0.73	25未満	400未満
13	市道金井大野線	金井地内	舗装路盤工	H7年度 H8年度	0.23	0.79	25未満	7,300	0.13	2.5	25未満	4,300
14	市道1-5590号線	金井地内	舗装路盤工	H17年度 H18年度	0.005未満	3.7	25未満	4,600	0.005未満	3.9	25未満	970
25	市道4-1090号線	白井地内	舗装路盤工	H16年度	0.005未満	0.08未満	25未満	6,900	0.005未満	0.93	25未満	400未満
34	県営赤城西麓土地改良事業 羽場坂地区 市道5-8776号線	赤城町 長井小川田地区	舗装路盤工	H20年度	0.040	1.3	25未満	15,000	0.005未満	0.46	25未満	510

構造物の基礎となっているもの(地中)

4	団体營基盤整備促進事業 五輪平地区集水マスの下地	有馬地内	構造物基礎	H13年度	0.026	4.9	25未満	15,000	0.005未満	0.84	25未満	610
---	-----------------------------	------	-------	-------	-------	-----	------	--------	---------	------	------	-----

※1 サンプリング分析結果中、土壌汚染対策法に基づく分析結果は、任意の地点において採取した試料を市環境課環境分析室で分析した参考値であり、土壌汚染対策法に基づく指定調査機関による分析結果ではありません。

※2 サンプリング分析結果中、スラグ碎石溶出量試験の品質基準値は、平成25年度の道路用鉄鋼スラグ規格の改訂により、新たに環境安全品質基準として定められたものです。(環境基準値と同一基準値)

※3 サンプリング分析結果中、六価クロムの下限値が「0.02未満」は環境分析室の値 「0.005未満」は業者へ委託したものの結果です。

※4 サンプリング分析結果中で定量下限値は土壌溶出量基準、土壌含有量基準の1/10を目安としています。有効数字は2桁として3桁めを切り捨てています。